

令和4年(2022)5月1日

目次

予算審査特別委員会	2
審議結果	4
常任委員会報告	5
代表質問	7
一般質問	10
モニター通信	15
議長室からこんにちは!	16

す

わ

Guide to SuwaCity Council

市議会だより



議員席側

議場の様子



市長部局側

令和4年3月定例会

R4.2.21▷R4.3.15

議案 22件

同意 1件

議員議案 1件

陳情 1件

が審議されました。

見どころ

- 予算審査特別委員会を開催! 2P
- 諏訪中卒業生から寄贈! 8P
- 政策提言書を提出! 15P
- 議会だよりモニターを募集! 15P



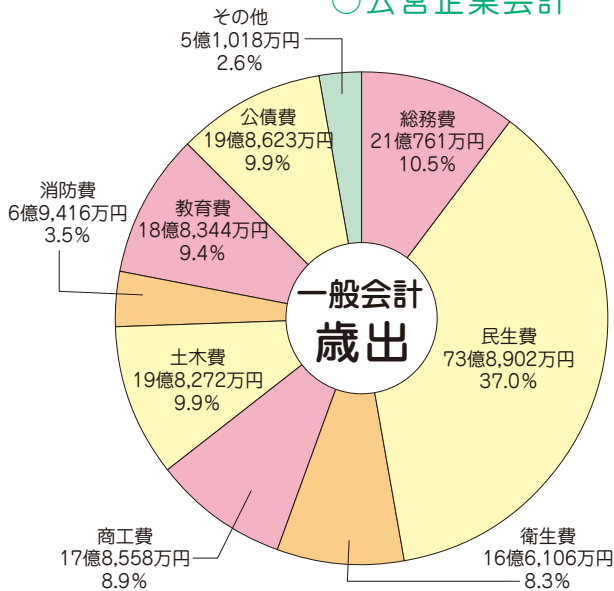
諏訪市議会 🔍 検索

令和4年度当初予算

すわを曳きたてる未来展開予算

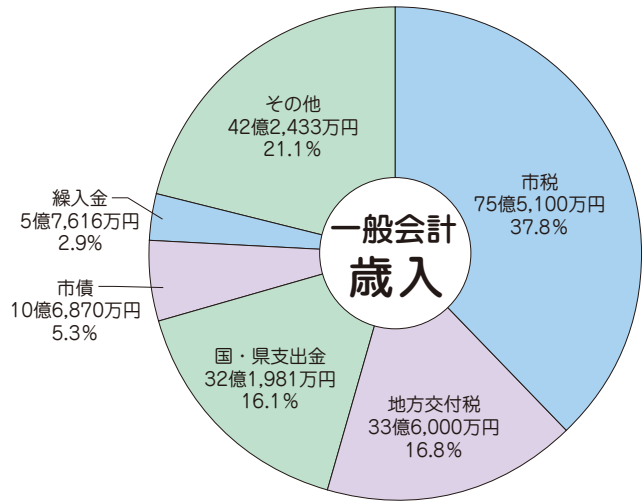
総額 310億6,420万8千円の使い道は！

- 一般会計
- 特別会計
- 公営企業会計



200億円
57億517万8千円
53億5,903万円

※図表中の金額は、1万円未満を四捨五入しているため、合計額や差引き額が一致しない場合があります。



総務費	庁舎管理や戸籍・住民票の発行などにかかるお金
民生費	高齢者・障がい者福祉や保育園、児童手当などにかかるお金
衛生費	予防接種や検診、ごみ処理などにかかるお金
商工費	商工業や観光振興にかかるお金
土木費	道路や河川などの整備・維持にかかるお金
消防費	消防・防災にかかるお金
教育費	小中学校やスポーツ施設の維持管理などにかかるお金
公債費	市債として借りたお金の返済など
その他	議会費、農林水産業費など

市税	市民税・固定資産税などの市民の皆さんから収められる税金
地方交付税	行政の格差をなくすため、国から交付されるお金
国・県支出金	国・県から交付される特定の事業に使うお金
市債	国などから借りるお金
繰入金	特別会計や基金から繰入れるお金
その他	地方譲与税、地方特例交付金など

予算の概要

令和4年度諏訪市当初予算は、一般会計総額200億円で、前年度比では3億2千万円、1.6%の増。過去6番目の予算規模となった。

特別会計は57億517万8千円、公営企業会計53億5,903万円であり、両会計の予算額は、110億6,420万8千円と前年度比で2億7,059万3千円、2.4%の減となった。

主要事業では新規が20事業、拡充が22事業、継続104事業の合計146事業が予算化された。

予算に対する主な意見

● 一般会計

◎財政調整基金・減債基金合計額の見込は、本年度末で約29億円、令和4年度末が約26億6千万円と、健全財政を貫いていることを評価する。

◎行政サービス等におけるデジタルトランスフォーメーションへの取組、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指し、経済と環境の好循環、グリーン社会の実現に結びつけた取組、小中学校のICT教育推進をお願いしたい。

◎教育・行政・福祉などの分野の制度・事業にIT化が国指導のもと進められているが、市民の利便性に伴う危険性、学校や現場での複雑さなど大きな負担も生んでいる。

◎子ども家庭総合支援拠点事業は、設置後3年が経ち、保護者にも浸透してきたように思われる。来年度はソーシャルワーカーを新たに配置するという事で、複雑化している家庭の困りごと解決の助けになると思われる。また、子どもの学習、生活支援事業の拡充で対象を拡大してくれたこともとてもありがたい。

◎児童学習支援事業で、小学校の自立生活支援員を2名増員していることはありがたいと思う。困難さを抱えている子どもは年々増えているので、更なる拡充をお願いしたい。

◎市庁舎の100%再生エネルギー電力利用については、広く宣伝し、市の取組をアピールされたい。また広報ではLINE利用を行い、若い世代へのツール発信に努められたい。

◎霧ヶ峰は、観光面で市民へのアピールを含め改善の余地が大きい。

諏訪湖は、市民や観光客にとってバランスの取れた素晴らしい場所にしていただきたい。また、ワカサギや手長エビの激減など、湖内・湖底環境が極めて危機的な状態。

◎空き家活用体験事業は、県が実施する「おためしナガノ」に変わり、U-Jターン就業移住支援補助金は、利用者が少ないことが理由で、新年度は令和2年度の1/4となっている。事業自体が縮小傾向に思われる。様々な機関と連携し、移住促進に向けて、利用しやすい事業の展開を望みたい。

●特別会計

◎「霧ヶ峰リフト事業」について、一般会計より繰入金4,500万円余の予算を組んでいる。少子高齢化、スキー人口の激減、立地条件、気候の温暖化等を考慮すると、行政が直接経営するスキー場は無理だと考える。市として結論を出すべき時期に来ているのでは。

●公営企業会計

◎「温泉事業」について新たな考え方・工夫をしてほしい。観光グラウンドデザインとのコラボなど、温泉の積極的な有効活用をして観光やまちづくりを展開されたい。

討論

◎議案第2号 令和4年度諏訪市一般会計予算

反対 国の進めている行政のスマート化について、職員の業務が煩雑化し、しつかりやっていかれるのか疑問視する。業務のオンライン化は一抹の不安を感じる。高齢者福祉について、認知症対策、グループホーム開設などの話はあったが、施設、在宅サポートも不十分である。生活道路について、沈む土地なので仕方がないが、穴ぼこだらけで、インフラ整備はスマートインターチェンジなど大きなところしかできていない。200億円の予算は住民中心になっていない。

賛成 業務スマート化について、デジタル化への初期投資は必要。高齢化社会に対して、サービスが行き届いていないというが、民間も参入し、全てを行政にとはいかない。スマートインターチェンジが出来ることによって諏訪市を訪れる人が増し、活性化につながる早期の整備をお願いしたい。また、街中の道路補修は素早く対応してもらえており、一般会計予算に賛成。

◎議案第3号 令和4年度諏訪市国民健康保険特別会計予算

反対 事業主に対し、傷病手当金を出している市町村もある中、諏訪市は認められない。積み上がった基金を使って、加入者の保険税を軽減し、国保制度を市民を守る制度に変えてほしいため反対。

賛成 今般のコロナ禍の社会情勢・経済状況を勘案し「国民健康保険基金」からの繰入れで補う予算編成とし、また、未就学児に係る均等割保険税について5割を減額する救済措置もとられた。今回計上された令和4年度諏訪市国民健康保険特別会計は、歳入歳出のバランスを鑑み、適切と思われるので賛成。

採決の結果

議案第2号及び第3号については討論があり、採決の結果賛成多数で可決。議案第4号から第10号は全会一致可決。

委員の皆さんから活発に意見が出されました！



正副予算審査特別委員長

令和4年第1回(1月)臨時会 審議結果

令和4年1月14日に臨時会を行い、民生費の補正予算9億5,912万8千円を審議し、全会一致で可決しました。(国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」関連及び諏訪市冬期特別生活支援に関する補正予算)

《全会一致で可決・採択された案件》

■ 議案 第1号 令和3年度諏訪市一般会計補正予算(第13号)

令和4年第2回(3月)定例会 審議結果

《全会一致とならなかった提出案件審議結果と各議員の賛否一覧》

賛成…○ 反対…× なお、議長(吉澤美樹郎)は、採決には加わりません。

区分	番号	件名	岩波万佐巳	牛山智明	井上登	廻本多都子	近藤一美	小松孝一郎	横山真	小山博子	高木智子	牛山正	藤森靖明	森山博美	小泉正幸	伊藤浩平	議決結果	
議案	2	令和4年度諏訪市一般会計予算	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案	3	令和4年度諏訪市国民健康保険特別会計予算	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	30	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める陳情書	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択

《全会一致で可決された議案》

- 同意 第1号 教育長の任命について
- 議案 第4号 令和4年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計予算
- 第5号 令和4年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計予算
- 第6号 令和4年度諏訪市駐車場事業特別会計予算
- 第7号 令和4年度諏訪市後期高齢者医療特別会計予算
- 第8号 令和4年度諏訪市水道事業会計予算
- 第9号 令和4年度諏訪市温泉事業会計予算
- 第10号 令和4年度諏訪市下水道事業会計予算
- 第11号 諏訪市環境と再生可能エネルギー発電等設備設置事業との調和に関する条例を定めるについて
- 第12号 諏訪市組織条例の一部改正について
- 第13号 諏訪市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 第14号 諏訪市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 第15号 諏訪市常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 第16号 諏訪市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 第17号 諏訪市非常勤特別職の職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 第18号 諏訪市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について
- 第19号 諏訪市老人福祉センター条例を廃止するについて
- 第20号 諏訪市国民健康保険税条例の一部改正について
- 第21号 諏訪市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 第22号 令和3年度諏訪市一般会計補正予算(第14号)
- 第23号 令和3年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)
- 議員議案 第1号 ロシアのウクライナ軍事侵攻を強く非難する決議

◎議案第18号 諏訪市会計年度任用職員給与等に関する条例の一部改正について

議案の内容

会計年度任用職員の保育士、放課後児童クラブ支援員などの収入を3%程度引き上げるため、給料や報酬に係る規定が定められるもの。

主な質疑

問 対象者はどれくらいか。
答 保育士で150名弱、放課後児童クラブ支援員で60名程度。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第22号 令和3年度諏訪市一般会計補正予算(第14号)

議案の内容

主な内容は別表のとおり。

主な質疑

問 農業水産業費については、タブレットを貸し出すが、どのような情報が使われどいった判断に役立つのか。①

答 農業委員、農地最適化推進委員が年2回農地を巡回している。GPS機能搭載なので、現地確認が容易で写真等の記録ができる。

問 土木費の「大規模盛土造成地滑動崩落対策事業」について、調査対象箇所はどこか。②

答 対象箇所はくるみ台団地1箇所、尾玉団地2箇所。今回二次調査をするのは、尾玉団地の2箇所。

採決の結果

全会一致可決。

◎陳情第30号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める陳情

陳情の主旨

見直しの内容は畦や水路がなく水張りができない水田や、令和4年からの5年間に1度も米を作らなかつた水田を対象から外すというもの。見直しを行わないよう、国に対する意見書の提出が求められるもの。

主な質疑

問 交付金を永久に続けるべきか、徐々にやめていけばいいと考えているか。

答 現在、米政策に国は責任を負わない。5年で切るなら方策を出すべきが出ていない。

問 この交付金の見直しに特化する理由は、根本的な農業政策に対する考えは。

答 すべての農業政策を国は見直す

べきだと思う。米は日本の主食であるが消費量は少ない。新たに食料法ができ、輸入米が自由化され、減反政策をやめ米を国が管理しないということ、米の関係で残っている交付金はこれのみで、農家が言える機会はこれしかないため。

討論

不採択 稲作を中心に水田として使う余地のある農地に払う交付金である。目的を明確にして見直しを進めるべきである。

採択 つなぎの法律で現在に至っているのは承知している。米価が下がり農家は大変で支援策として必要である。

採決の結果

継続審査を求める意見については、賛成少数で否決。
採択については賛成少数で不採択。



(仮称)諏訪湖スマート IC の工事視察

議案第22号《総務産業付託分》

項目	増減金額	主な内容
総務費	5億6,655万6千円	一般人件費 9,273万円
		一般事業費(ふるさと振興基金積立金など) 4億5,000万円
		ふるさと寄付金事業費 2,382万6千円
農林水産業費	28万円	機械器具購入費① 28万円
商工費	2,200万円	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金積立金 2,200万円
土木費	3億9,880万9千円	県事業土木工事負担金(急傾斜地崩壊対策事業など) 65万7千円
		道路改良事業費(スマートIC整備事業など) 2億9,715万2千円
		大規模盛土造成地滑動崩落対策事業費② 700万円
		上諏訪駅周辺まちなが再生推進事業費 800万円
		公園管理費 3,600万円
消防費	74万8千円	諏訪湖周サイクリングロード整備事業費 5,000万円
災害復旧費	財源振替	消防施設費 74万8千円
		河川対策費 財源振替

※補正額と主な内容の合計金額は一致しない場合があります。

◎議案第11号 諏訪市環境と再生可能エネルギー発電等設備設置事業との調和に関する条例を定めるについて

議案の内容

再生可能エネルギー源を活用した設備の設置に係る基準を定める条例が制定されるもの。

主な質疑

問 設置者が別の法人名で隣接地に設置を行う場合は、一つの事業とみなすのか。

答 法人の関連会社であるかどうかの確認や設置位置等を事前協議の中で確認していく。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第19号 諏訪市老人福祉センター条例を廃止するについて

議案の内容

施設の老朽化と利用者の減少に伴い、令和3年度末をもって施設が廃止されるため、本条例が廃止されるもの。

採決の結果
全会一致可決。

◎議案第20号 諏訪市国民健康保険条例の一部改正について

議案の内容

健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国民健康保険税において未就学児に係る被保険者均等割額を減額する改正が行われるもの。

主な質疑

問 該当する世帯数は。

答 軽減の無い世帯数が67世帯。7割軽減が31世帯。5割軽減が23世帯。2割軽減が19世帯。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第22号 令和3年度諏訪市一般会計補正予算(第14号)

議案の内容

主な内容は別表のとおり。

主な質疑

問 戸籍住民基本台帳費のワンストップ化とは。①

答 マイナンバーカード所持の転出者は来庁が不要となり、オンラインにより転出届と転入予約を行う。転入先では、本人確認のため来庁は必要だが、転入届は印字されているので記載の時間短縮が図られ、自治体間のデータのやり取りで、待ち時間の短縮化が図られる。

問 周知はどのようにするのか。

答 令和5年2月開始予定なので、それに合わせて行う。

問 保育士等処遇改善臨時特例補助金の昇給分は、次年度以降も継続となり、それは国が負担するのか。②

答 公立・私立共に、令和4年9月までは今回の補助金の対象となっている。それ以降は、私立については国が改定する公定価格の上乗せ部分で計算して払い、公立については交付税措置となる。

問 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の終了はいつ頃か。③

答 大半は5月頃。現在少人数だが1回目、2回目の方がおり、その方は6か月を過ぎると3回目接種ができる。接種実施時期は9月末までと言われている。

採決の結果

全会一致可決。

議案第22号《社会文教付託分》

項目	増減金額	主な内容	
総務費	459万2千円	戸籍住民基本台帳費①	459万2千円
民生費	△446万8千円	保育士等処遇改善臨時特例補助金②	153万2千円
		災害被害者救援費	△600万円
衛生費	3,622万8千円	保健センター管理費(サーマルカメラの設置)	42万円
		新型コロナウイルスワクチン接種事業費④	3,538万5千円
		成人保健費(自動血圧計の設置)	42万3千円
教育費	1,905万円	ものづくり教育奨励基金積立金	600万円
		小学校における感染対策に係る消耗品費	855万円
		中学校における感染対策に係る消耗品費	450万円

※補正額と主な内容の合計金額は一致しない場合があります。

代表質問

各グループ(会派)が、政策上の問題などについて質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁であり、代表者の文責によるものです。※各議員のQRコードから代表質問の動画にリンクできます。

彩風すわ



森山 博美



●令和4年度予算について

問 目玉となる事業と政策案は。

答 「魅力の架け橋 高原湖畔都市」実現のため、SDGsに沿った3テーマを中心に進める。

①「環境への取り組み」2050ゼロカーボン達成のため脱炭素社会の実現を目指していく。庁舎電力100%再生可能エネルギー、ペーパーラボ、家庭への再生可能エネルギー導入補助、森林づくり事業を進める。

②安心できるまちづくり「社会的共通資本の強化」。内水排除ポンプの設置、増設の検討、河川しゅんせつ、堆積土砂除去、自主防災組織活動への支援などに取り組む。

③「経済の発展」農地盤整備、観光インフラ整備、様々な産業発展を後押しする。

問 市長として2期目の仕上げは。

答 マニフェストには、8つの理想を掲げ、81項目の施策を盛り込んでいる。この項目を達成すべく未来展

開の年と位置づけ、「魅力の架け橋 高原湖畔都市」を目指していく。

●令和3年度の事業状況と課題

問 養育支援訪問事業のコロナ禍での実績は。

答 養育支援事業は、保健師や助産師、ヘルパーなどが家庭を訪問し、養育に関する専門的な指導や助言の支援を行い、養育環境を確保する事業。支援対象者、訪問支援者の双方で感染症対策に配慮しながら継続している。健康推進課・こども課で約10世帯、延べ約100回の訪問支援を実施した。

問 認知症サポーターとQRコードの普及は。

答 認知症を理解し、見守り支える養成講座は約4千名が受講した。社会福祉協議会と連携し、推進していく。QRコード付きシールは、認知症高齢者の衣類や持ち物に貼り、行方不明時に発見者がQRコードを読み取ることで家族や市に発見通知メールが届く仕組みで、現在8名が利用。

問 「第二次環境基本計画」の概要と令和4年度の取組は。

答 今後10年間の環境施策をSDGsや地球温暖化、2050カーボンニュートラル等を取り入れ、「うつく

しい湖 あふれる緑 小鳥うたうまち 文化の香り高く いきいきと やさしいまち」を目標と掲げている。令和4年度は、家庭に設置する蓄電池導入への補助、宅配バッグの無料モニター事業を予定。

問 学校と地域住民の協働により、子ども達の豊かな成長を支える「コミュニティスクール」の状況は。

答 コロナ禍で中止になる活動もあるが、活動内容や形を変更する工夫をし、継続している。改めて地域に根ざした学校づくりのため「コミュニティスクール」の重要性を強く感じている。

問 「災害に強い安全・安心なまちづくり」で防災無線、メール、LINEの活用は。

答 昨年の災害で情報発信面の課題が挙がった。情報発信強化のため秘書広報課の職員を災害対策本部室に位置づける等組織体制を見直す。

問 小規模地区との意見交換は。

答 市内89区のうち100世帯未満の区は39区。9割が上諏訪地区。地域力低下の対応策について意見交換を行っているがすぐには進まない。長期的視点で継続的に取り組んでいく。

●令和3年8月の大雨災害について

問 ゲリラ豪雨や線状降水帯など予測できる災害についての市民を守る施策は。

答 浸水被害区域における道路の高上げの検討、水系・流入量調査実施後、内水排除ポンプ・側溝の整備を検討する。

要望 発災時には、諏訪市の職員総出になる。自助・共助・公助の順であれば、まず自分の身の安全、地域力が必要と思う。記憶の新しいうちに情報を収集し、各地域が率先して動けるようなガイドラインや情報の伝達を行う体制づくりが必要と思う。



令和3年8月大雨浸水の状況



廻本 多都子



● コロナ禍のくらし・経済への支援策

問 度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などでの事業所や非正規雇用者など、市民生活への影響は大きいのが現状やその対策は。

答 事業所においては各産業厳しい状況が続いている。昨年旅館などの宿泊業は修学旅行等誘客により90%まで戻ったが、今年1月は60%にダウン。2月には平日は休業にする宿泊施設も増える事態になった。市はプレミアム付き飲食券などの支援策を講じている。



コロナ禍の経済応援施策

問 まいさば諏訪市への相談件数・内容はどうか。

答 令和元年度121件、令和2年度225件、本年度は令和4年1月末時点225件と高止まり状態であるが、雇用情勢は回復傾向。

問 今後の対策は。

答 経済活動支援は、宿泊施設に対してすわ泊お宿割りなど、まん延防止等重点措置により下振れしている飲食店に対してクーポン券発行事業を予定している。

福祉については制度を継続し、制度の周知を徹底する。

● ワクチン接種の状況と見通し

問 3回目のワクチン接種も始まっております。2月中には65歳以上の接種を完了するとの国の発表もあったが、現状や今後の見通しは。

答 2月24日現在人口比で21.0%。日赤での集団接種と各医療機関での個別接種の2つで施行。65歳以上の接種率は48.9%で2月後半をピークに3月にかけて完了予定。

問 保健所の体制は十分か。

答 感染症の対応は県主体で行われているが、圏域市町村と保健所の連携推進会議での意見交換、情報の共有を図っている。

市としてもあらゆる機関と連携し、コロナ禍の暮らしを守るため取

組を行っていく。

● コロナ禍の介護保険事業計画への影響は

問 現在の利用状況はどうか。

答 給付額の見込み額は174億円余りで、ほぼ計画どおりと予想される。

問 計画ではあと2年間あるが、今後の見通しはどうか。

答 後期高齢者の人口割合が増加する推計。中長期的な傾向として要介護認定度が上がり、サービス利用者が増加することに伴い、給付額も増加していくと予想される。

問 長引くコロナ禍での現場への影響はどうか。

答 介護相談員の訪問が全くできていない状況が続く。通所サービスが1週間休業など影響は大きい。面会などへの配慮と工夫をしている。

議会 TOPICS



諏訪中学校の卒業生より諏訪市議会へ

「傍聴者記載台」と「市議会だより用ラック」をいただきました。本当にありがとうございます。

諏訪市の小中学校は「相手意識に立つものづくり教育」を進めています。今回、その一環として制作していただきました。備え付ける窓口の高さや形状に合わせたり、アクリル板の切断や接着に苦勞したとお聞きしました。

大事に使わせていただきます。

市民の皆さんには、議会の傍聴にお越しいただき、素晴らしい使い心地を感じていただきたいと思います。



代表質問

あしたの諏訪



岩波 万佐巳



●コロナウィルスの対策について

問 コロナ対策における市長の思いは。

答 市民と共通の思いの中で苦しい状況乗り越えていかななくてはならない。必要な情報にアクセスできることや必要な施策を適時適切に行っていく。引き続き庁内を挙げて全力で取り組んでいく。

問 接種券発送のスケジュールは。

答 3回目の接種券は、2回目の接種から6か月経過を目安に順次発送する。昨年8月末までに2回目を接種済の方には接種券発送済。

問 18歳未満12歳以上の接種は「努力義務」ではなくあくまで希望する者という解釈でいいのか。

答 予防接種法により、16歳以上の者は「接種を受けるよう努めなければならぬ」、16歳未満は「保護者に対し、接種を受けさせるために必要な措置を講ずるよう努めること」と定められている。

問 5歳から11歳までの子の接種はいつからか。

答 予定では3月19日から諏訪赤十字病院と市内医療機関でも準備を進めている。「努力義務」は適用しない。

問 無料ワクチン接種終了時期は。

答 今のところ令和4年9月末まで。

問 ホームページのコロナ関連の情報がわかりづらいが改善策は。

答 レイアウトや色遣い等視覚的にわかりやすく必要な情報にたどり着けるよう研究していく。

要望 最新の的確な情報を単純明快に市民に伝わるようお願いしたい。

●通学路について

問 通学路はどのようにして決めるのか。変更はできるのか。

答 交通安全、防犯、防災の視点から主要道路を学校長が指定している。必要に応じてPTAや地域とも協議。各家庭では、学校が指定する主要道路を基本として、家からの通学路を決め毎年届出をしている。変更については安全性に欠けたりほかに安全な道路がある場合などに協議して決める。

問 長野県で緊急点検をしたが、諏訪市でも行ったのか。

答 諏訪市では、毎年10月下旬に警察署、道路管理者、区長などの関係機関と通学路の合同点検を実施している。1か月前倒しで実施した。



子どもの通学の様子

問 危険箇所とはどのような道路か。

答 車の往来が多くスピードを出している車が多い道路、道幅や歩道が狭い道路、歩道の傷みや路面標示が劣化している、街灯がない道路等。

問 どのような対策をしたのか。

答 区画線や止まれの塗り直しなどの補修、車道と歩道間のラバーポールの設置やグリーンベルトの新設。地域と連携した見守り活動、危険個所の周知、交通安全指導を実施している。

用語解説 番外編

諏訪市議会 1年間の定例会開催の流れ

諏訪市議会では以下のように定例会を開催しています。

また、常任委員会に加え、3月には予算審査特別委員会、9月には決算審査特別委員会が設置されます。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		3月定例会 (予算)			6月定例会			9月定例会 (決算)			12月定例会

定例会以外でも必要がある場合、「臨時会」を開催します。令和3年は2回開催しました。



小山 博子

●不登校児童・生徒の支援について

問 学校に登校できることを目標としているのか。個々に寄り添った対応を行うことは非常に難しいが、市はどのような対応をしているのか。

答 学校に登校することのみを目標として支援するのではなく、児童生徒が社会において自立的に生きる基礎を培い、豊かな人生を送ることができるよう支援していく。必要な支援が「教育的支援」、「心理的支援」、「社会的支援」のいずれなのかを見極めながら、学校やソーシャルワーカー、スクールカウンセラーが連携し、各家庭に寄り添った対応を行っている。

●子宮頸がんワクチンについて

問 令和3年11月12日に子宮頸がんワクチンは、定期接種ワクチンとして12歳〜16歳の女子に接種の推奨が再開された。定期接種を受けられなかった9学年（平成9年から平成17年生まれ）の女性に対しても無料接

種が決まった。不安解消のための対策と周知は。

答 9学年の女性に対しては、令和4年4月から3年間行う。個別通知においてワクチンの有効性及び安全性についての説明を行う。県や市の相談窓口を周知し、諏訪市医師会の協力を仰ぎながら、対象者が接種について検討・判断するために必要な環境整備を行う。

子宮頸がん予防ワクチン
～小学校6年から高校1
年生相当の女子と保護者
の方へ大切なお知らせ～

●18歳で成人をむかえる若者の法的トラブルを回避する対策について

問 消費者教育の推進状況と、トラブルに巻き込まれた時の対処法の周知は。

答 小中学校では、社会科や家庭科を中心に、児童・生徒の発達段階に応じた消費者教育を行っている。消費者生活センターからの出前講座による消費者教育の授業も行っている。



近藤 一美

●人生会議を活用し、健康長寿を！

問 市長施政方針の人生会議とは。

答 「アドバンス・ケア・プランニング」略してACP。和訳が「人生会議」である。人生100年時代を迎え人生の最終段階における、医療やケアについて、高齢者本人を主体に、家族や医療・ケアチームが話し合いを行い、本人の意思決定を支援するプロセスのことである。

問 まだ一般市民にとって「人生会議」はなじみがないが、今後どのように理解・普及させていくのか。

答 「ライフドアすわ」で、市民に理解をしていただく手段として、5つの講座×ニユーを用意して「出前講座」を開催しているので活用していただきたい。



人生の節目ごとに
出前講座を活用しよう！

●すわっこランドを活用しよう！

問 10年振りの指定管理者変更の理由は何か。

答 2社から応募があり、審査の結果、全国でスポーツクラブを経営し、公共プールや温泉施設などの指定管理の請負実績があり、すわっこランド運営への熱い思いを感じ、ダンロップ・スポーツウエルネスに決定した。

問 開館17年目を迎え、入館料、割引・減免制度の見直し、受益者負担の導入などを検討する時期ではないか。

答 市としてのスポーツ振興、健康増進施設としての役割や利用促進など、総合的な観点から検討していく。

要望 まだまだすわっこランドの良さのPRが足りない。SNSの活用など新しい発想が必要だ。

●市LINE公式アカウントに登録を！

問 登録の方法と、どんなことが出来るのか。

答 QRコードから簡単に登録でき、防災や緊急情報、新型コロナウイルス感染状況、市の様々な情報が無料で気軽に利用出来るので便利。是非登録をしていただき活用をお願いします。



諏訪湖の環境を回復させよう！



●諏訪湖に対し何を行うのか！

問 市は第三次環境基本計画を策定するとともに令和4年度主要事業テーマとして「環境への取り組み」を挙げている。生態系が危機的な諏訪湖に対し何を行うのか。

答 第三次環境基本計画では「泳げる諏訪湖を取り戻そう」と方針を定め、市の魅力向上につなげる。市民アンケートでも水のきれいさに対する不満が多い。「諏訪湖・流入河川の水質保全」「諏訪湖の景観保全と美化」「生態系の回復」を基本目標として一

斉清掃・ヒシ除去・浮遊ゴミ除去作業を市民が楽しみながら参加できる方策を検討する。

要望 この活動では、激減し絶滅の道をたどるワカサギや手長エビなどの生態系維持にも効果が出ない。危機感を持ってもらいたい。湖周二市一町で連携するとともに県や国に強く働きかけてほしい。

●観光グランドデザインと今後の進め方

問 市は観光グランドデザインを策定し、観光を主要事業テーマ「経済の発展」の目玉として挙げている。観光グランドデザインは方向を示すとして具体的な施策がない。観光の課題の捉え方と施策への展開は。

答 市若手職員により、諏訪市の観光について詳細な分析をした。施策は令和4年度「誘客コンテンツ造成プロモーション事業」で関係者に検討してもらい施策展開をする。

要望 グランドデザインは策定した後の戦略・戦術が大切。観光客目線に立ち最適環境を提供する必要がある。課題を抽出し改善を図る「おもてなし発見隊(仮)」を提案する。また、市民に霧ヶ峰など観光地を知ってもらう事も大切。



●コロナ禍の事業者支援

問 支援金では、書類不備の理由で再申請を繰り返しても支援を受けられない状況も存在した。行政の支援は。

答 企業訪問の中で、補助金の申請方法などの相談にも応じていく。

問 アフターコロナでの課題は。金融機関との連携が必要では。

答 事業者の融資が据置き後、元金返済がはじまる等、厳しい状況が予想される。事業者に寄り添い支援し金融機関と綿密な情報収集と共有をしていく。

問 消費税のインボイス制度はこれまで非課税であった事業者に新たな税負担や事務負担が生じる。支援策は。

答 システム改修などインボイス発行事業者に対しての持続化補助金特別枠が設けられた。補助率3分の2、上限100万円。IT導入支援でITツール導入経費として最大350万円



令和5年10月から導入されるインボイス制度

を支援。税務署や諏訪商工会議所と連携し市内事業者に広く周知をしていく。

●保育園・学校のコロナ対応

問 定期的な検査が必要だが考えは。

答 感染を防ぐ対策として有効と考えるが、症状が出た場合にかかりつけ医や保健所へ相談するよう伝えたい。

問 小学校休業等対応助成金の周知、支援は。

答 事業主に対しては商工会議所と連携し、周知を行ってきた。また、該当する保護者からの問合せについて特別相談窓口を案内する。

問 オンライン授業の状況、学力、学習の遅れは大丈夫か。

答 一律に実施ではなく生徒数や学習の進み具合に応じて対応している。

●18歳成年で大丈夫か

問 成年年齢下げによる消費者トラブルの傾向は。

答 令和4年度から成年年齢が18歳になる。成人に達すると、法律の保護から外れ、自分の意思で契約ができ、責任が生じる。傾向は、サプリメントや化粧品などの詐欺的な定期購入商法、インターネット通販等のトラブルが多い。



藤森 靖明



●デジタル化社会のインフラ整備について

問 スマホ決済等について商業施設、飲食店への支援の取組は。

答 キャッシュレス決済に関し、既に多くの商業施設、飲食店でカード払いによるキャッシュレス決済は導入されていたが、主流になりつつあるPayPay等の電子マネーのシステムを導入する経費への補助については、26の事業者にご利用いただくことができた。

問 医療についてデータヘルス改革の内容と現在の状況は。

答 市では、保健医療に係る特定健診、乳幼児健診等のデータを保有しており、これを※マイナポータルで閲覧可能とするため順次システム改修を行っている。また、マイナポータルでは特定健診や乳幼児健診・妊婦健診などの母子保健関係や予防接種に係るデータの閲覧が可能となっている。

※マイナポータル：オンライン申請ができる自分専用のサイト。

●信州風樹文庫について

問 広域ネットワークの意義は。

答 諏訪広域図書館情報ネットワークシステムは、平成7年度から運用され、6市町村の図書館の蔵書が、どの図書館でも借りられるようになっている。このことは、岩波書店を創業し「岩波文化」という言葉も生まれるほど文化事業に貢献した岩波茂雄や、風樹文庫創設に尽力した人々の功績を諏訪圏域全体で享受できる意義がある。



現在の信州風樹文庫

●コロナ禍における地域コミュニティについて

問 伝統文化の継承の考えは。

答 地域コミュニティにとって伝統行事の継承というのは、文化的意味における伝統の継承と、地域の親睦活動としての2つの意味がある。伝統文化を保存し、継承していくことは、諏訪で暮らす私たちのアイデンティティにつながり、まちの魅力につながるものである。諏訪市にとっても大きな意味があると考えている。

●スマートインターについて

問 基本的施策、展開利用計画は。

答 ①観光スポットへのアクセス向上による地域観光振興への寄与。
②諏訪地域や県内外からの企業の工業製品の出荷や輸送において、住宅地や混雑を回避した輸送ルートが確保でき、時間短縮を図ることによる地域産業発展への寄与。
③諏訪圏域の第3次救急医療機関である諏訪赤十字病院とのアクセス距離が短縮され、より確実な救急搬送



小泉 正幸



(仮称) 諏訪湖スマートICの工事状況

が可能となり、救命率の向上を図ることによる地域救急医療への寄与。
④交通分散による市内で起こる慢性的な渋滞の緩和や市内中心部からインターチェンジまでの所要時間短縮に繋がる高速道路利用者の利便性の向上。
⑤地域防災機能の向上としての、スマートインターを活用した、迅速な救命・救急・救援活動や大規模災害時における緊急物資の輸送、復旧活動に不可欠な緊急輸送路を確保する。

●霧ヶ峰について

問 今後の目指す全体像は。

答 現在、コロナ禍の影響をはじめ旅行ニーズ、働き方等の形態が多様化する中、今後の霧ヶ峰高原一帯の観光振興のあり方と方策を見出すため、霧ヶ峰高原活性化・再整備検討調査業務を行う。

問 キャンプ場の拡充、追加設備、有料化設備は。

答 キャンプ場は近年のブームや新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来場者が増加傾向にある。前述の調査の結果を踏まえ、観光グラウンドデザインへの位置づけも併せて、今後の整備を検討する。

一般質問



高木 智子

●福祉医療費給付事業について

問 福祉医療費給付事業の概要は。

答 中学3年までを対象に1か月500

円の窓口負担で病院にかかれる制度。

問 現物給付方式後の医療費増減は。

答 平成30年8月に導入後、令和元年度の給付額は対前年度比で約3千万円、28.4%の増額となった。

問 県内の他市町村の状況はどうか。

答 令和4年度からは、予定市を含めると入院及び通院の双方とも18歳までとする市は19市中10市となり、県内の半分以上の市が18歳までの助成を始める。

問 対象年齢を引き上げるためのシステム改修は可能なのか。

答 小規模程度の改修で済み、可能。東京都も18歳までを対象とする

問 方向性を出した。県内でも半分以上の市が18歳まで。全国では通院で733自治体、入院で799自治体が18歳まで

が助成対象。令和4年度から県の補助は増えており、その分、市の支出は減っている。福祉医療費の対象を18歳までに拡大してほしい。システム的には可能とのこと。市長の政治判断は。

答 市民の税負担の増加につながる。医療費の助成は義務教育終了時までが妥当と考える。

要望 親にとって子ども健康は最も大切。今年から成人年齢が18歳に引き下げられ、それまでは子ども。県内の半分以上の市が18歳までの助成を始めている。当市もぜひ18歳まで制度の拡充をしてほしい。



18歳まで医療費助成を

●来年度の成人式について

問 令和5年の成人式は5月開催予定。祝日に学校がある学生等もいるが。

答 開催日程については祝日における授業日の状況や社会における成人の認知状況を勘案して検討する。



牛山 智明

●市交付の補助金終期設定について

問 終期設定されていない件数、予算額、決算額は。

答 全件数264件、終期なし182件（68.9%）で予算額約13億円、決算額12億円程度である。

問 補助金終期検討委員会の立ち上げ検討は。

答 新規補助金には終期を設定し、「取扱基準」には、終期3年を超える場合には理由を記載する。新設、改正を行う際には、事前に財政課と協議し、関係課所長で構成する庁内の例規審査委員会で審査をする。

●再生可能エネルギーについて

問 温泉熱発電実証実験での軸受けに関する他メーカーの意見聴取は。

答 ヤンマーと協定書を締結しており意見聴取は行っていない。

問 水道を活用した「マイクログ水力発電」について、導入検討、調査、研究の考えは。

答 水量・高低差のある角間沢水系の足倉配水池の周辺を検討した。管路が大変古く、赤水の発生や異物混

入等の水質への影響、代替ルートもないこと等課題がある。引き続き可能性について研究する。

問 家庭用太陽光発電・蓄電池設置購入補助金の考えは。

答 発電設備と連結する、国・県の補助との併用は不可、設置費用の10%、上限10万円の補助をする。

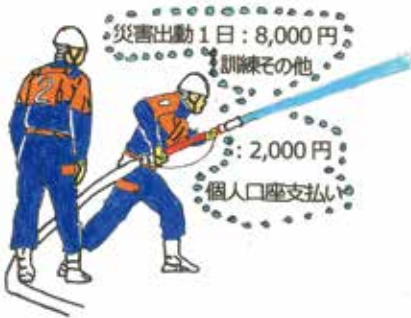
●消防団員報酬に関する条例について

問 団員標準年報酬額36,500円は支給されているのか。

答 昨年度の見直しにより26,900円支給している。地方交付税措置の内容等動向を考慮し、5年度からの年報酬について再検討する。

問 今回の改正により災害出動、警戒、訓練等の報酬は個人支給されるのか。

答 令和4年度より個人口座への直接支給になる。



入団しよう！
諏訪市を共に守ろう！



横山 真

●(仮称) 受動喫煙防止条例の制定
について

問 市長が推し進めようとする条例制定への思いは。

答 受動喫煙による健康被害を未然に防止し、健康寿命を延伸し、思いやりの気持ちから優しく美しいまちづくりを推進することが願い。

問 たばこ税収入の一部を喫煙者のための施策に使用できないか。

答 条例制定を機に、禁煙を望む人への後押しをしていきたい。

問 条例制定までのスケジュールは。

答 令和5年4月施行を目指し、6月中をめどに条例案を示し、9月定例会に提案したい。

問 湖周近隣市町との関係など集客場所等協議できているのか。

答 常時密集している地域はないが受動喫煙に遭遇するケースは皆無ではないと思われる。近隣市町との調整は今のところ予定していない。「受動喫煙防止は推進してほしいが吸う

人・吸わない人両者が共存できる環境を望む」声があることは承知している。

●御柱祭について

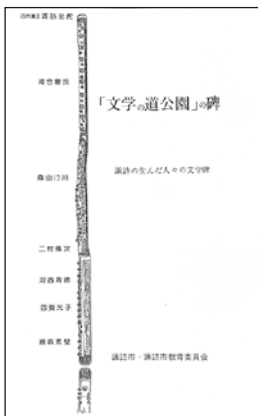
問 当初予算で上社御柱祭にごみステーションを設置するが灰皿設置、また条例制定に対するアンケートを実施する予定は。

答 上社御柱祭・安全対策実行委員会から原則禁煙と聞いており灰皿を設置する予定はなくアンケート調査を行う予定もない。関係団体等との意見交換の中で観光客をもてなす立場で意見、提案があれば伺う。

●文学の道整備について

問 19の文学碑があり、危険箇所の整備や子供たちが安全に遊べる対策などリニューアル整備を求めるが。

答 公園整備から30年余り経過した。リニューアル整備の声が上がれば地区の皆さんと相談しながら方向性を見出していきたい。



市役所受付で配布しております



牛山 正

●コロナ感染症BCP(事業継続計画)について

問 市役所の取組の考えは。

答 市が提供する行政サービスは市民の生活に密着しており、企業活動等においても大きな影響を与えることから、災害時・非常時においてもその全てを止めるわけにはいかない。市のBCPは、平成28年に策定しており、感染症BCPにおいても、この計画を適用することで継続的な行政活動を提供していくことができる。

●長野県森林づくり県民税(県森林税)について

問 森林税の継続についての考えは。

答 当市の森林整備を円滑に行うこととはもちろん、防災・減災対策、カーボンニュートラル対策等を推進するために「森林税」事業は大きな支援となっている。令和2年度には長野県市長会へ継続要望を議題として上げ

たが、今後も機会があれば引き続き県へ要望する。

●守屋山登山道(本宮)からの整備等について

問 パンフレット製作、登山道整備についての考えは。

答 以前、観光産業活性化協議会により作成された「守屋山ちよこつと登山&キレイ旅のススメ」という登山者向けパンフレットがあるが、内容を見直しパンフレットの更新を行う。ルートについても地元森林管理団体と詳細を確認しながら整備等進めていく。

●諏訪を撮る、フォトコンテスト開催について

問 諏訪の観光資源(霧ヶ峰、諏訪湖等)を題材にした写真展開催の考えは。

答 諏訪市の魅力が多くの人から発信されるよう、写真を活用した観光振興の取組を、観光関係団体と連携して進めていきたいと考えている。



高島城と雪桜

社会文教委員会が政策提言を市長に提出しました！

社会文教委員会では、喫緊の課題とされる「ヤングケアラー対策」について、まずは、しっかりと子どもの気持ちに寄り添い、支援が必要なのか、どのような支援が欲しいのか等について聞き取ることも重要と考えました。そのうえで、子どもが孤独を感じたり、孤立したりすることのないよう、適切な教育の機会の確保、心身の健やかな成長・発達、自立が図られることを願い、3月15日、金子市長に提言書を提出しました。



1. 広く周知すること。
2. 専門の担当窓口をつくり、実態調査により早期発見すること。
3. 支援に繋げるため、教育、医療、介護、福祉の関係者、児童委員等子どもに係る関係者等への研修を行い、支援に向けた体制づくりをすること。



議会だより モニター通信



第6期議会だよりモニターを募集します！ ～皆様のご意見をお聞かせください～

■活動内容：・年4回発行の議会だよりについてのアンケートに回答する
・年2回諏訪市議会だよりモニター連絡会議に出席する など

■任期：委嘱状を交付された日から1年間

■対象：満18歳以上の諏訪市民の方(市の職員は除く)

■募集定員：15人以内(応募多数の場合は抽選となります)

■申し込み方法：5月27日(金曜日・必着)までに、申込書(議会事務局にて入手または諏訪市HPよりダウンロード)に必要事項をご記入のうえ、直接または郵便、FAX、メールにて議会事務局までご提出ください。

申し込みはこちら



議会だより87号のアンケート結果

モ モニター **議** 議会だより編集委員

モ 討論の部分ですが、各意見について冒頭に「採択」「不採択」など、どちら側の意見なのか示したほうが理解しやすいのではないかと。

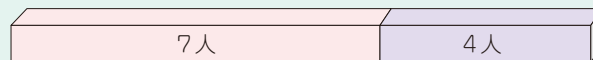
ご意見ありがとうございます。5Pの討論で「採択」「不採択」を採用させていただきました。

モ 今までになく多くの用語解説が充実していて、分かりやすかった。

嬉しいご意見ありがとうございます。皆様のご意見を反映させていただいた結果です。

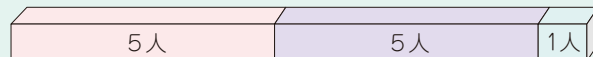
① 本誌の内容はわかりやすいと思いますか。

良い まあ良い 普通 あまり良くない 良くない



② 表紙や見出しについてのイメージはいかがですか。

良い まあ良い 普通 あまり良くない 良くない



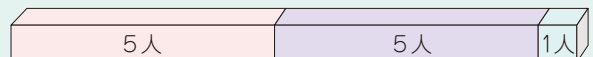
③ 紙面構成、レイアウトはいかがですか。

良い まあ良い 普通 あまり良くない 良くない



④ 写真や図の使い方はいかがですか。

良い まあ良い 普通 あまり良くない 良くない



★たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。

議 長 室 から こ ん に ち は !



諏訪市ゼロカーボン
シティ宣言

令和4年度より、第六次諏訪市総合計画がスタートいたしました。新たな取組として、SDGsに沿った事業展開が行われています。とりわけてゼロカーボンシティ宣言にみられる環境への取組、第三次諏訪市環境基本計画も同時にスタートいたしました。私たちが子ども達に何を残せるのか、未来に何を繋げるのかチャレンジの始まりです。山々に代表される大いなる自然、流れ出る水の力、溢れる太陽光、温泉のもたらす熱エネルギーと身近な資源に恵まれた諏訪市。「サステナブル」は持続可能な発展、心豊かに暮らすためのエネルギー利用に皆で知恵をしぼる時が来ています。

議長 吉澤 美樹郎

議会に参加しましょう

6月定例会は、**6月7日(火)** 招集予定です。

詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定する予定です。



議会を傍聴しましょう!

諏訪市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。本会議は当日の受付で傍聴できます。ご希望の方は、諏訪市役所議会棟2階の議会事務局窓口までお越しください。また、その際にアンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。託児サービスは傍聴希望日の5日前までにお申し込みください。



傍聴の際はマスク等、感染対策をしてお越しください



請願・陳情を出しましょう!

議会に対して陳情書等を提出することができます。ご意見や要望がある方は、議会に文書でご提出ください。

締切りは5月30日(月)正午までです。

提出方法など、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



議会をテレビ・パソコンで見ましょう!

本会議の様子は、LCVの「かりんちゃんねる」で生中継しています。また代表・一般質問の映像はYouTubeにアップしています。各議員のQRコードを読み込むと動画が見られますので、ぜひご覧ください。

なお、過去の本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

6月定例会のテレビ中継日程予定

月 日	会 議
6月 7日(火)	提案説明、議案質疑、付託
6月13日(月)	代表・一般質問
6月14日(火)	一般質問
6月15日(水)	一般質問
6月23日(木)	委員長報告、採決

※中継日程は、変更になる場合があります。

委員 委員 委員 委員 委員
員 員 員 員 員
小 森 藤 高 廻 小
泉 山 森 木 本 松
正 博 靖 智 都 孝
幸 美 明 子 郎

議会だより編集委員

編集委員 廻本多都子

日差しが暖かくなり、新緑の季節となりました。
コロナ感染症は、3年目に突入し感染者の高止まりが続いています。そんな中でロシアによるウクライナへの侵攻は皆さん心が詰まる思いでしょう。何より子ども達の犠牲には、怒りと「こんなこと許されるのか」と居ても立ってもいられません。
諏訪市議会でも「ロシアのウクライナ軍事侵攻を強く非難する決議」を全会一致で可決しました。
一刻も早く日常を取り戻してほしいと思います。あわせてコロナ禍で我慢を強いられている子ども達にも同様にコロナの収束をと思います。

編集委員よりひょうと

諏訪市防災無線フリーダイヤル、メールサービスをぜひご活用ください!

■防災行政無線フリーダイヤル 0120-68-8404(無料)

■防災メールアドレス 登録方法：右記QRコードを読み込むか、
bousai.suwa-city@raiden.ktaiwork.jp に空メールを送り、
返信メールに従って登録してください

